



長野県北部を震源とする地震に対する TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）活動状況



平成26年12月1日
北陸地方整備局



➤ 地震の概要

発生日時：11月22日22時08分頃

マグニチュード：6.7

場所・深さ：長野県北部

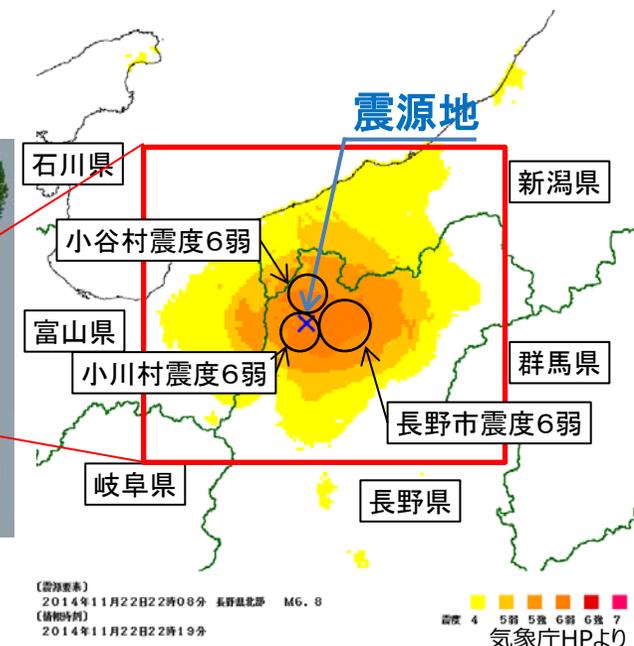
北緯 36度41.5分

東経 137度53.4分 深さ 5 km

震度：【最大震度6弱】長野県長野市、小谷村、小川村で震度6弱、白馬村、信濃町で震度5強を観測したほか、中部地方を中心に、東北地方から中国地方の一部にかけて震度5弱～1を観測しました。



日本気象協会HPより



➤ 被害の概要

今回の地震により、長野県白馬村、小谷村で被害が甚大であり、全壊33棟、半壊66棟の被害が発生しました。また、国道148号、406号で土砂崩落により通行止めが発生したほか、県道、市町村でも通行止めが発生しました。

人的被害	死者	0名
	行方不明	0名
	重傷	10名
	軽傷	36名
住家被害	全壊	33棟
	半壊	66棟
	一部損壊	848棟
非住家被害（全壊・半壊）		78棟

長野県ホームページより（11月30日 10時現在）



家屋損壊状況(白馬村)



国道148号 土砂崩落通行止め箇所(白馬村)

支援概要



➤ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)による支援活動の概要

11月22日 22時08分 長野県北部を震源とする地震発生 地震災害対策本部非常体制発令

11/22

千曲川河川事務所より長野市にリエゾン 2名派遣(23:10到着)
松本砂防事務所より白馬村にリエゾン 1名派遣(23:20到着)
北陸地方整備局より新潟県にリエゾン 2名派遣(23:50到着)

11/23

砂防担当職員による上空(ヘリ)からの緊急調査(9:00~)

- ◆ヘリ調査(被災状況調査班:北陸地整3名、他長野県2名)
- ◆長野県へ、ヘリ画像を配信

長野県・新潟県・市町村(長野市、大町市、白馬村、小谷村)に本局、事務所からリエゾン16名派遣

長野県から災害対策車両の要請

- ◆照明車2台、Ku-SAT(衛星小型画像伝送装置)1台を派遣

11/24

長野県から土石流危険渓流調査の要請

- ◆本局、事務所(飯豊、湯沢、立山、神通)から5班19名を24日派遣

小谷村から村道被害状況調査の要請

- ◆本局、事務所(新潟国道、長岡国道)から3班12名を24日派遣

小谷村から橋梁調査の要請

- ◆本局、事務所(北陸技術事務所)から2班6名を25日派遣

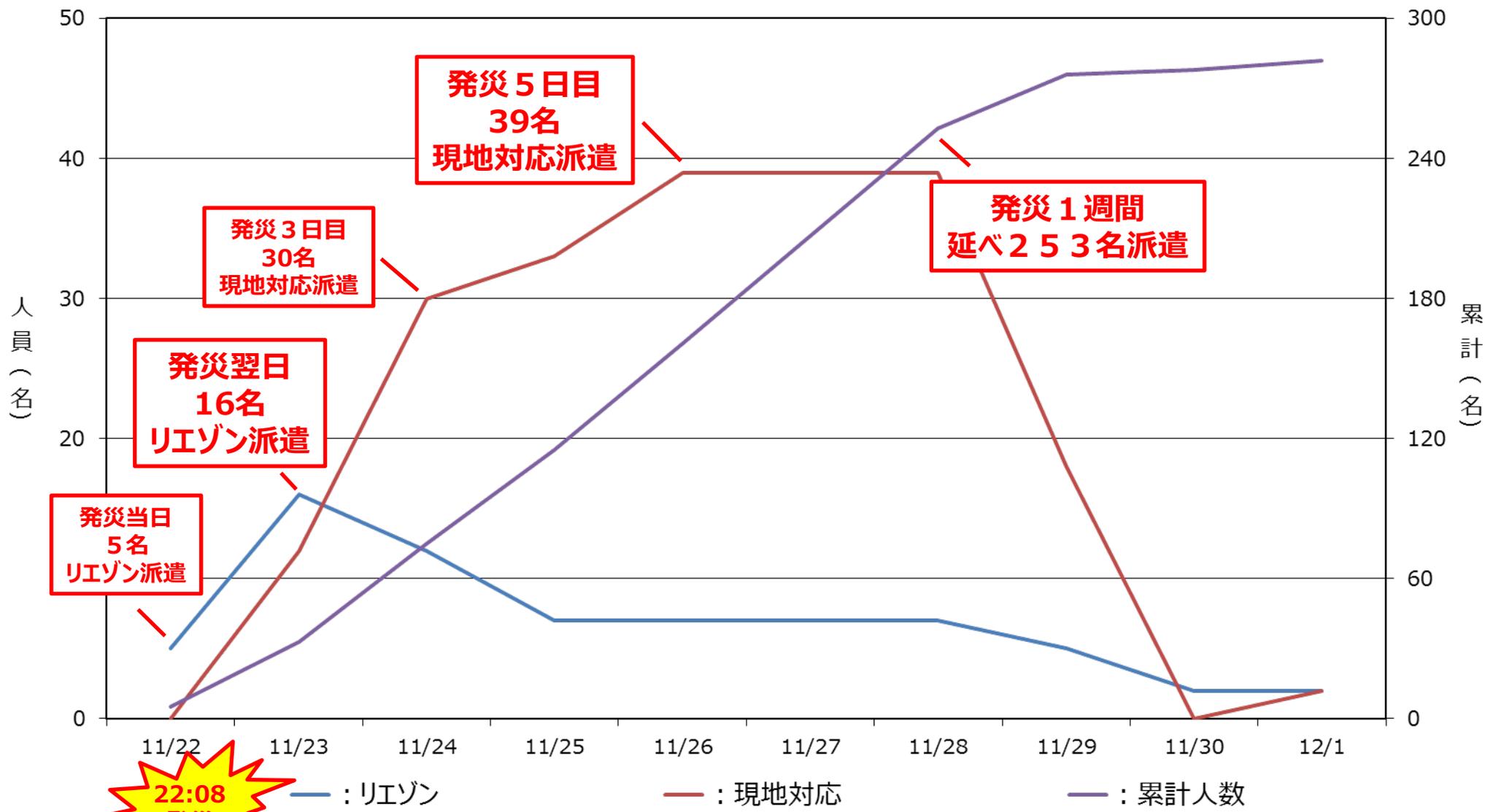
長野県へ土石流危険渓流調査結果を報告(28日16時)

小谷村へ村道被災状況、橋梁調査結果を報告(29日10時)

派遣期間:11月22日~ 派遣人員:延べ282人(12月1日8時30分現在)



➤ TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)派遣状況 (12月1日8時30分現在)



➤ リエゾン（現地情報連絡員）の派遣

今回の災害に対して、北陸地方整備局は、11月22日 23時10分から長野県、市町村に順次リエゾンを派遣。
2名体制で情報収集、支援メニューの提示等リエゾン活動を行いました。



本部会議に出席して情報収集



市町村長の片腕となって調整



報道機関からの取材対応

リエゾン[※]（現地情報連絡員）について ※リエゾン（liaison）：フランス語で「組織間の連絡、連携」

リエゾン（現地情報連絡員）の目的

「災害時の情報共有による迅速かつ的確な初動体制の実施」「国土交通省の行う支援の適切な実施」に資することを目的として、北陸地方整備局又は各事務所から市町村の災害対策本部等にリエゾン（現地情報連絡員）を派遣します

土石流危険渓流等調査

11月23日に実施した防災ヘリによる緊急調査（概況）を受け、長野県からの要請により、地上から76渓流の土石流危険渓流調査を実施しました。



土石流危険渓流点検結果に関する説明会



長野市長への報告(長野市役所)



小谷村長への報告(小谷村役場)



白馬村長への報告(白馬村役場)

調査結果説明状況



姫川砂防事務所管内調査状況



土尻川砂防事務所管内調査状況



長野県職員との打合せ状況



UAV(撮影用ドローン)による調査

➤ 道路被災状況等調査

長野県小谷村からの要請を受け、村道26路線の道路被害状況等調査を実施しました。



小谷村・長野県との合同打ち合わせ状況



現地概略調査



崩壊土石塊の撤去



地域住民からの聞き取り



道路崩壊箇所調査



斜面崩壊箇所調査

➤ 橋梁調査

長野県小谷村からの要請を受け、村道89※橋の安全性を確認するための調査を実施しました。

※村管理（台帳上）105橋のうち、車両通行可能な橋梁（89橋）



小谷村・長野県との合同打ち合わせ状況



橋台クラック調査



橋桁鋼材の損傷調査



橋梁下面から調査



橋梁側面から調査



小谷村長・職員に調査結果を説明